

学校教育目標	○考える力を育てます。〈理性〉(知) ○大好きなものを増やせる心を育てます。〈感性〉(徳) ○自分から行動する力を育てます。〈自主性〉(体) ○人のために役立つとする意志を育てます。〈社会性〉(公) ○世界への関心を育てます。〈国際性〉(開)					
	学校概要	創立 61 周年	学校長 太田 正寿	副校長 次田 るみ子	2 学期制	一般学級: 24 個別支援学級: 4
児童生徒数: 849 人		主な関係校: 六角橋中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	六角橋中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力>	六角橋中学校 神橋小学校 斎藤分小学校 中丸小学校	夢や希望、目標をもてる子どもを育成する。 <hr/> ・「自分づくり教育」を教科横断的に実施 ・合同授業研究会を年に2回開催 ・人権教育推進協議会などの合同の研修会を開催 ・学家地連などの児童生徒指導に関わる事業を実施 ・児童生徒交流会などの小中連携事業を実施

中期取組目標	○学校教育目標の具現化のために、効果的な学習指導(知・徳・体・公・開)と児童生徒指導に取り組みます。 ○信頼される学校づくりのために、安全管理や学校広報に努め、地域連携を推進します。 ○効率的な学校運営を実現するために、人材育成、組織運営の改善、業務改善、適切な労務管理を実行します。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 学習指導部	①一人ひとりの児童の学力の向上を目指し、教科分担制や少人数指導を継続して学習指導の工夫改善に取り組む。また、学習支援のステップアップについては国語と算数が選択できるようにする。②学年だよりや個人面談等を通して、家庭学習の定着化を呼び掛ける。
豊かな心 担当 道徳教育係・人権教育推進担当・図書総務係	①「だれもが」「安心して」「豊かに」の視点で道徳科をはじめ、他の教科・学校生活・コロナ禍の生活を通して充実した心の教育を目指す。②豊かな感性や情操を育成するために、できる範囲の中での学校行事、学年行事、集会活動、体験学習、社会見学、芸術鑑賞、音楽活動、読書活動、異学年交流活動などに取り組む。
健やかな体 担当 体育科部会・食育保健係	①児童が運動機会の確保をするため、できる範囲の中での体育授業をはじめ、体育の準備運動や体力向上を目指したトリムコースの活用を図る。②生活的自立・健康増進・安全な生活を実現するために、自分から安全に注意して行動できるように取り組み、引き続き注意喚起と巡回を実施する。給食の残食率をさらに削減できるように配膳等を工夫する。
キャリア教育 担当 特別活動係	①一人ひとりが集団の中での自分の役割が意識できるような取り組みを通して、自己肯定感の向上を図るとともに目標を持つことができるように育てる。②できる範囲の中で地域や企業等と連携し、体験学習や社会見学などを通して、学習したことが生活や将来につながるようにする。
国際教育 担当 国際教育係	①外国語による聞くことや話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指す。②AETおよびIUIとの交流を通して、様々な国の文化を学習したり、外国語の音声や挨拶などの身近な表現に慣れ親しんだりするようにする。
児童指導 担当 人権児童指導部	①問題行動の防止や適切な指導のために、アンケートや面談により児童の状況把握を行い、素早く情報を共有して組織的な対応を行う。②適切な特別支援教育・不登校支援を行うために、関係機関との連携、ケース会議や研修会を実施し、保護者との連携や児童との交流活動に計画的に取り組む。
信頼される学校づくり 担当 情報・安全指導部	①安全な環境づくりのために、施設管理を徹底し、防災・防犯等に対する計画を立案し、整備・訓練・指導を実施する。②学校だより・学年だより・保健だより・給食だよりの発行、定期的なHPの更新を通して広報活動を行う。また、必要に応じてメール配信を活用する。児童や保護者の入学・進学時の不安を軽減するために、計画的な入学準備や幼保小中連携等を行う。
地域連携・学校運営協議会 担当 管理職	①地域の人的・物的資源を活用した児童の学習活動や学校・地域コーディネーターを通して学校支援活動の継続や推進に取り組む。また、社会教育との連携や学校施設の有効利用など地域との協働を図る。②中学校ブロック学校運営協議会を通して、効果的で円滑な学校運営に取り組む。
いじめへの対応 担当 人権児童指導部	①いじめの未然防止のために、学校いじめ防止基本方針に基づき、アンケートや面談等により児童の状況把握を行い、組織的かつ迅速な対応をするとともに、いじめを生まない集団づくりのための指導を計画的に行う。②学校いじめ防止基本方針に基づき、保護者や関係機関との連携を推進する。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 管理職・事務職員・メンターチーム	①キャリアステージに応じた人材育成を行うために、メンターチーム、管理職・主幹会などの開催と各種研修を推進する。②校務分掌が効率良く機能するために、校内組織ガイドや学校運営評価を活用して改善に取り組む。また、ゆとりの時間が確保できるように業務改善や適切な労務管理を実行して働き方改革を推進する。